

平成30年度鶴城中学校

学校教育目標

夢に向かって、「**考えぬき、信じぬき、努めぬく**」生徒の育成

目指す学校像

- ◎子ども、保護者、地域住民から信頼される学校
- ◎よき伝統を継承し、いつまでも記憶に残る学校

目指す生徒像

- か 感謝、すべてに感謝できる生徒
- く 苦勞を惜しまず、あきらめない生徒
- じ 人権を尊び、誰とでも協力できる生徒
- よ 読む、よく読む、進んで読書する生徒
- う 嘘偽りなく正直な生徒

今年度の合言葉

最後の1年 悔いを残さず 有終の美を飾る

$$49 + 21 = 70$$

鶴城中だより

文責 校長 田上明利 No. 1

七十二年目の鶴城中学校
いつまでも記憶に残る
格別の一年に！

すばらしき伝統ある鶴城中学校に、定期異動によりまして、校長の田上他五名の職員が着任しました。任期は一年、感激と同時に身の引き締まる思いです。

転入者は、田上明利（山鹿市教育委員会から）、中嶋英一教諭（鹿北中から）、春田大祐教諭（山鹿中から）、宮田尚美講師（中富小から）西田怜講師（新規採用）、洲上真裕養護助手（山鹿中から）です。

今年度は、鶴城中学校で七十名の人が学校生活を送っていきま

す。教諭（山鹿中から）です。どうぞ、よろしくお願います。さて、始業式の日、49 + 21 = 70 この数式の意味について生徒に問いました。すると、「この数式の意味は、鶴城中の生徒四十名と先生方二十一名を足して七十人であることを意味しています。」と答えてくれました。今年度は、鶴城中学校で七十名の人が学校生活を送っていきま



入学式

四月十日（火）、中嶋山鹿市長様をはじめ、多くの来賓御臨席の下、第七十二回鶴城中学校入学式を挙行出来ました。新入生十九名、保護者の皆様、御入学誠にありがとうございます。

式辞の中で、本校の教育目標「夢に向かって、『考えぬき、信じぬき、努めぬく』生徒の育成」を実現するための「めざす生徒像」について話をしました。

まず、「感謝、すべてに感謝できる生徒」に。「ありがとう」の言葉をたくさん使うこと。

次に、「苦勞を惜しまず、あきらめない生徒」に。簡単にあきらめずに粘り強く取り組むこと。

三つめに、「人権を尊び、誰とでも協力できる生徒」に。自分の命を大切に輝かせることはもちろん、他の人の命、人権も大切にすること。

四つめに、「読む、よく読む、進んで読書する生徒」に。たくさん本を読み賢い生徒になること。

祝 入学式



五つめは、「嘘偽りなく正直な生徒」に。迷惑をかけたなら、正直に謝ること。今年度の鶴城中学校は、一年生十九名、二年生が十一名、三年生が十九名、合計は四十九名。教職員が二十一名、総勢七十名でのスタートを切りました。


